

246

## ながかみ保育園

## 【キーワード】

〔施設種別〕 □高齢者施設 □障がい者施設 ■子ども施設 □住宅 ( )  
 〔運営主体〕 □市区町村 ■法人 □NPO □個人 (補助金) □内閣府 □国土交通省 □厚生労働省 ( )  
 〔建物形式〕 □1棟単体型 ■複数棟集合型 □団地型 (建物状況) ■新築 □増築 □改修 □一部改修 □既存  
 〔対象者〕 □高齢者 □障がい者 ■子ども □ファミリー □多世代



写真1. 外観写真

どの子ども、どの大人も一人ひとりの違いを認め、自分にはないものを感じて、お互いの力を借りたり、出会うことでより幸せになれる。そんな少し大きな家を目指している保育園。子どもの遊びの自由を大切にしており、児童発達支援事業所を併設し、ハンディキャップのある子どもも共に生活し、互いに影響を与え合っている。

## ■施設概要

所在地：静岡県浜松市東区中田町 776

運営主体：社会福祉法人 七恵会

対象年齢：生後6か月～小学校就学前まで

開所時間：午前7時～午後6時30分

保育標準時間：午前7時～午後6時

保育短時間：午前8時～午後4時

預かり保育：あり

休園日：日曜、祝日、年末年始

定員：120名（0歳児15名 / 1歳児21名 / 2歳児21名 / 3歳児21名 / 4歳児21名 / 5歳児21名）

付帯事業：子育て支援ひろば「きらり」

併設事業名：児童発達支援事業所 ながかみ

## ■運営概要

一人ひとりのその人らしさを大切にをコンセプトに、「住み慣れた家で、家族と共に、地域社会と繋がりながら暮らす」という考えから始まった社会福祉法人七恵会によって運営されている。その考えをもとに、保育園自体を大きな家として、保育士も、キッチンやお掃除のスタッフも、お隣の高齢者施設の方々も、みんなが1つの大きな家族と捉え、世代を超えてお互いを必要とされる「昼間の家庭」を目指している。大きな家族として環境を共有して過ごし、その家族が営む生活の中で、子どもたちは生活の大切なことを学び、未来の生活の基礎をつくっていく。



図1. 立地周辺 (Google マップから引用 <https://www.google.co.jp/maps/@34.7369232,137.7609809,348m/data=!3m1!1e3>)

上島駅から徒歩23分。畑や住宅に囲まれている。



写真2. 内観写真 ランチルーム

壁がガラス張りになっており、日の光が差し込む。また、吹抜けになっていることから開放的な空間となっている。



遊んだり、いろいろな人と多様な関わりを持ったりすることで、子どもの心を育てる。このようにして子どもたちの主体性を大事にしている。

#### ○異年齢保育

2歳児～5歳児は「かぜ」「そら」「ひかり」の3つの異年齢グループで遊び以外の時間を生活し、着脱、排泄、食事など、大きい子が小さい子の見本となる。自分でできることは自分でやり、できないことは助け合う。大きな家族として生活の場を共有することで、大人の介入がなくとも、子ども同士で問題解決をしたりなど、子ども同士がお互いに影響を与え合い、共に育て合う環境をつくっている。

#### ○統合保育

「ハンディキャップのある子もない子も、発達のだん筋は同じ」を理念に、同じ敷地内に児童発達支援事業所を併設し、共に生活をしている。発達が早い子もゆっくりな子も、それぞれのステップを確実に上がることが成功体験になり、自己肯定感を育てていく。

#### ○コーナー保育

なかよし（ファンタジー、構成、製作）わんぱく（散歩、集団遊び、プール）いただきます（野菜づくり、クッキング、保存食づくり）の各コーナーで「やりたい、見たい、挑戦したい、好き」という探求心や意欲を軸に、子ども自身がワクワク取り組めるようプログラム作りをしている。子どもたちは、自ら選択し、主体的に遊びにかかわっていく。その他、粘土ワーク、木工ワーク、パステルワークや、バスで行く遠出散歩が週1回ずつ、子どもたちの選択肢に加わる。

#### ■建築的特徴

園庭を挟んで建物が2棟に分かれている。建物の内観は木材を多く使用しており、木の温もりによるアットホームな雰囲気に包まれている。家のような居心地の良い空間にするために、吹抜けや広いスペース、壁をガラス張りにしたりなど、開放的な空間を演出している。また、園庭が大きく、子どもたちが自由に遊べるような遊具がたくさんあり、丘があったりなど、子供の成長を促す環境が整っている。



写真3. 内観写真 大きな黒板

廊下に大きな黒板が設置されており、子どもたちが自由にお絵描きができた、折り紙を貼り付けている。子どもたちの自由を大切にしている。



写真4. 内観写真 ホール

建物内には広いスペースがいくつか設けられており、そこでお遊戯をしたり、おひるねを取っている。木材を多く使用したアットホームな雰囲気に包まれている。



写真5. 園庭

広い敷地を利用して園庭は広々と開放的な空間となっている。子どもたちの遊びの自由や主体性を大切にしていることから、遊具がたくさんあったり、丘があったりなど、探求心を育てる環境が整っている。